

## 新型コロナウイルス災厄の中で

内海良太

令和2年3月末日現在、新型コロナウイルス感染拡大の脅威が益々高まるばかりで、終息の見通しがたちません。

このような状況の下、「万象俳句会」の皆様には不安を抱きながらも恙なくお過ごしのことと思います。

4月に予定されていた「同人会総会」の延期を始めとして、3月、4月の同人句会、中央句会、各県支部の句会等、多人数の集まる会は、ほとんど中止を余儀なくされています。俳句は座の文芸。やはり句会に出て自分の作品を見てもらい、他人の作品を選ぶことによつて俳句の道が開けるもので、句会の意義や重要性は言うまでもありません。

しかし、この先もウイルスの災厄は続きそうな気配です。これからも、それぞれの地域の実情に合わせた方法を工夫して、この難局を乗り切っていただきたいと思ひます。

「万象」誌の発行については、現在、東京都江戸川区に借りている事務所の使用が制限されたこともあり、編集・校正スタッフ内の偏った業務量、交通混雑、代替会場の確保等、いろいろな難題が生じています。

現在のところは、何とか調整を図りながら期日発行の確保に全力を上げておりますが、この状態が長く続けば、発行の遅れ等、予断を許さない状況にあります。

これからウイルス感染の拡大防止に意を注ぎながら、状況に即した運営と創作活動を続けていきたいと思ひます。皆様のご健康と息災を祈っております。

令和2年3月31日

万象俳句会主宰 内海良太